



# 希望の未来へ!あなたと市政のかけ橋に すずらんジャーナル

船橋市議会議員

## はしもと 和子

2019年 第57号

市民相談はお気軽に

公明党控室 047-436-3032

発行 橋本 和子



「走る広告塔」  
昨年9月に提案  
し実現!



前原西8丁目10番地付近の階段に  
手すりが設置され、利用者の方々から  
喜ばれています。

公用車に、マグネット式の広告が張り出されました。

市が直接広告を募集しているわけではなく  
広告会社が、55台分を、3年契約で契約し、  
1年毎に使用料が市の歳入となります。

## 西浦下水処理場消化ガス発電施設

汚水を処理する際に発生する汚泥を、発酵させると、可燃性のバイオガス(消化ガス)を得ることができ、燃料として電力固定価格買取制度(FIT)を活用した発電事業を民設民営方式で行っています。



車いす生活の方が、出かけるとき一番心配なのが、トイレです。多目的トイレの手すりが固定式になっていると、正面からの移動のため、足に力が入らず、車いすからの移動が大変で、手すりが可動式の場合は、腕の力で移動するので、手すりを上にあげて、車いすからそのまま横に移動ができます。私は、車イスでも安心して出かけられるようにせめて公共施設だけでも、可動式にするべきだと思い、多目的トイレに対する市の基本的な考えを伺いました。



## 高齢者、障がい者等の円滑な移動に配慮した建築設計標準

(国土交通省のガイドライン)



多目的トイレにおいて便座の両側に手すりを設ける場合には、介助等を考慮し、片側の手すりは可動式とすることが推奨されている。

既存の公共施設の中には、トイレの面積や構造上の問題から、可動式の手すりを設置することが困難な場合もあるが、できる限りガイドラインに沿うようにする。

高松市の「たかまつユニバーサルデザインマップ」は、公共施設や飲食店、宿泊・商業施設の情報を、障がい者、子ども連れ、外国観光客らが目的に沿って閲覧できるサイトです。本市でも、ユニバーサルデザインマップを作成するよう要望しました。

# がん教育について

## がん教育の目的

「がんについて正しく理解することができるようにする」

「健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする」

がんについて学ぶことや、がんと向き合う人々と触れ合うことを通じて、命の大切さに気づき、社会の一員として自分の生き方を考えることが大切です。

実際に家庭や地域でがんと向かい合う機会がなくても、学校でがん教育を行うことで、子どもたちは、がんという病気を正しく理解し、健康であることの素晴らしさを実感することができます。

家族の一員として、家族全員が健康な家庭生活を送れるように気を配るようになる。

がん経験者の方に話を聞くことにより、その苦悩を理解しようと考え、他人を思いやり、いのちを大切にする心が育まれる。

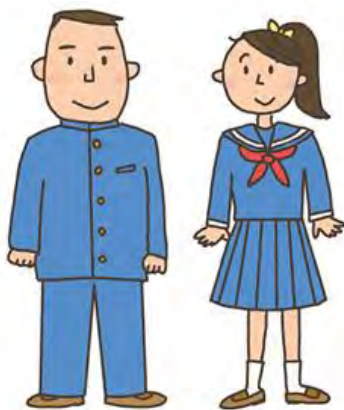
このような心が育まれてくると、他人をいじめたり、自分を傷つけてはいけない事がわかってきます。

このような事から私は、以前から、がん教育について、取り組んでいます。



©NEW KOMENTO

文部科学省では、新学習指導要領(中学校及び高等学校の保健体育科)に「がん教育」が明記され、中学校では、2021年度全面実施となりました。



©KOMENTO

市民の健康を守る観点から、健康福祉局の認識を伺ったところ、若い世代からの生活習慣病予防の普及啓発が、がん予防にも効果的であると考えている。教育委員会と連携を図りながら、がん教育を推進していく。

# 行財政改革推進プラン

本市の人口は63万人に達し、未だ増加傾向にありますが、今後は少子高齢化が進む一方、働く世代が減少に転じる時代を迎えます。

介護や医療等の  
社会保障費の増加

市税収入の減少



今後、公共施設が老朽化し、公債費が増大します。

急激な人口増加に伴い整備された多くの公共施設が老朽化し、その維持・更新には、今後多額の費用が見込まれます。

学校の耐震化や清掃工場の建替え等の整備に積極的に取り組んできましたが、それらの多くは国からの補助金や借りたお金(市債)で賄われ、今後市債を返済するためのお金(公債費)が増大します。

安心して暮らしていくには、道路や河川等の都市基盤の整備が必要です。

2019年度～2020年度を「集中取組期間」とし、事業の精査・見直しが行われます。8月～9月頃に、市民への意見聴取等が開催されます。

また、周知のために、行革シンポジウム・行革ワークショップも開催されますので、今後発行される「広報ふなばし」をご覧ください。



はしもと 和子 090-5574-9079

ホームページ [hashimoto-kazuko.jp](http://hashimoto-kazuko.jp)

市政に関するご意見・ご要望をお寄せください。

S.35年 長野県軽井沢町生まれ 小諸商業高等学校卒業

八十二銀行入行 S.57年より船橋市在住 H.27年より保護司

